

沖縄県立芸術大学大学院 芸術文化学研究科
令和7年度入学試験

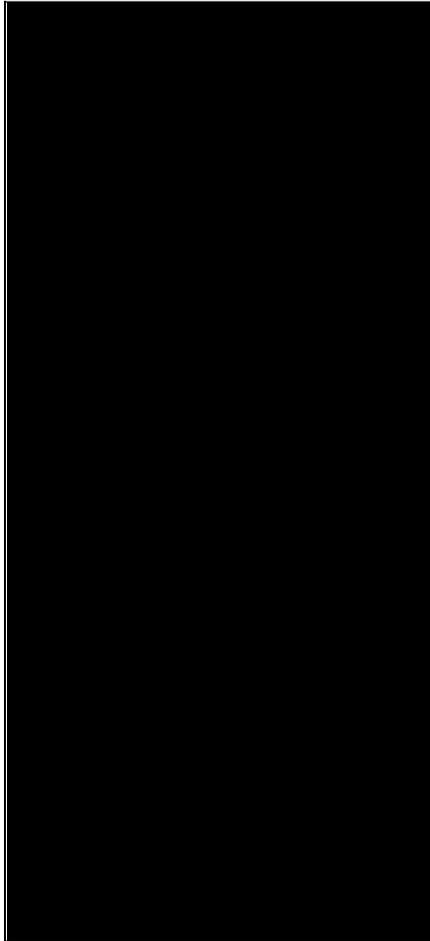
語学（中国語）問題用紙

受験上の注意事項

- ・比較芸術学領域及び民族音楽学領域の受験者は、問題1及び問題2の両方を解答すること。全ての解答用紙に受験番号を記載すること。
- ・芸術表現領域の受験者は、問題1または問題2のうち、どちらかを選択して解答すること。選択した問題の解答用紙にのみ受験番号を記載すること。
- ・試験終了後、配布した用紙は全て回収するので、持ち帰らないこと。

問題1 次の文章1及び2をすべて日本語に訳しなさい。

文章1



文章2

山地方官報稱咸豐拾年正月貳拾伍日
有小海船壹隻漂來本山洋面隨詢來歷
該難人等音語不通內有略識漢字者據
稱梁明得等玖名俱係朝鮮國全羅道江
津人去年玖月貳拾伍日坐駕小船出海
釣魚詎想洋中忽遇暴風任其漂流正在
饑渴之際幸於拾月初肆日漂到大島地
方蒙該地方垂憐難人給食養贍至于本
年正月貳拾日見有順風要回本籍開船
放洋仍又遇着暴風船尾損壞不能前去
而至水糧衣服等物盡投海中漂收貴山
等語隨將該難人等照例收養等由

據敝國屬葉壁

琉球国の正史『球陽』雍正4（1726）年記事

出典：那覇市歴史博物館所蔵

『球陽 卷之十一』（794号記事）

『歴代宝案』第3集3卷16号文書

出典：沖縄県教育庁文化財課史料編集班（編）

『歴代寶案 校訂本第15冊』沖縄県教育委員会、2016年、62頁

問題 2 次の文章を読んで、後の問（問 1、問 2）に答えなさい。

明清兩代對琉球語稱呼的變化，並不僅僅是表面上叫法的改變。琉球的制度、王統、地理、風俗、藝術和文學等，所有關於琉球的冊封使的記錄，在徐葆光、李鼎元，以及位於兩者間的周煌《琉球國志略》的互補下，已近乎完美。李鼎元冀望達到完成周煌《琉球國志略》所欠缺的琉球語注解的目標，而得知李鼎元編纂琉球語辭典之目的的國王尚溫，推薦了楊文鳳等 4 位年輕學者當助手。李鼎元與其助手，在 6 月 10 日到 10 月 4 日間共開了 10 次集會，完成了兩千四百數十條詞語的注解。李鼎元自述命名為「球雅」的理由，是因為仿照《爾雅》的體例，先舉出漢語，其下置琉球語辭，為了以漢文通夷文，使「不雅者」亦歸於雅。

然而，「球雅」並未出版，只有名為「琉球譯」的抄本流傳至今。據說李鼎元滯琉期間，為琉球語的收集和注解傾盡心力，即使在回國的船上也不斷校對，可惜這本辭典卻成為逸失的幻作。而這本應已完成的「球雅」原稿去向長期以來受到眾人的關注。1994 年丁鋒氏（大東文化大學教授）發現了收藏在北京圖書館的「琉球譯」，之後從其內容和體裁來看證明了這本書的確就是「球雅」。

出典：上里賢一「華夷秩序與琉球的自我認識」『第十回琉球・中国交渉史に関するシンポジウム論文集』沖縄県教育委員会、2014 年、173 頁。

問 1 下線部を日本語に訳しなさい。

問 2 課題文の内容を 400 字程度で要約しなさい。